



よさの



第15号 H25.8発行

編集/発行

与謝野町農業委員会

広報編集委員会

〒629-2498

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL:0772-43-2191 (直通)

FAX:0772-43-2194

夏だ！与謝野だ！ひまわりだ！



与謝野町ひまわりフェスティバル開催！！ 平成25年8月8日～平成25年8月6日

第15号のもくじ

- ひまわりフェスティバル開催！！……………2・3
- 軽トラ市開催！……………4
- 新規就農者がきた！……………5
- 農地情報（賃借料情報等）……………6
- 有害鳥獣シリーズ……………7
- 農業者年金について……………7
- 田植え体験祭りの開催について……………8



今年は場所を四辻地区から金屋地区に変更し、名称も「ひまわり15万本」から「与謝野町ひまわりフェスティバル」に生まれ変わりました。

今年から「与謝野町ひまわりフェスティバル」 としてリニューアルされました!!

ひまわりの規模は20万本に!!

※平成25年7月25日撮影



例年どおりのイベントも開催!



当日のひまわりフェスティバルは
大勢の方にご来場いただきました!

美味!これこれ!



与謝野サンド



ひまわり迷路

京の七夕



かかしコンテスト

8月3日(土) から与謝野町ひまわりフェスティバルが開催され、20万本のひまわりが迎えました。

フェスティバルの目玉である巨大ひまわり迷路は子供から大人まで楽しめる構造となっており、子供からは「わからへん!」と大きな声上がるおもしろいスポットになっていました。また、リフレかやの里の前では売店も数多く並んでおり、中でも鹿肉を挟んだ「与謝野サンド」は大好評でした。

今年のひまわりは、晴天が続いたため育成が良く満開のピークから経過しての開催でしたが、それでも昨年同様に与謝野町のひまわりが見たいと多くの方がご来場されました。

フェスティバルの期間中は、与謝野町周遊キャンペーンも行い、キャンペーン参加店に行くと様々な特典がもらえる企画がありました。また、同時開催で第2回まちぐるめHIYOSANOも行われており、金屋地区だけでなく町全域が盛り上がるイベントになっていました。

リフレかやの里の駐車場内にある森の直売所は昨年の6月にオープンしてから地域の交流の場にもなっており、与謝野町で採れた新鮮な野菜が販売されています。

ひまわりを見終わった帰りにちよっと立ち寄ってみようかなと思えるような直売所になっていますので、リフレかやの里でランチを食べてお帰りになる際には立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

また、今年のフェスティバルは、11日まで開催する予定でしたが、空梅雨や高温、度重なる豪雨など天候不順の影響のため、予定より5日間短縮し6日(火)をもって終了となりました。

残念ながら一面のひまわりを見る事ができなかった方は是非、来年のひまわりフェスティバルに金屋までお越しください。



軽トラ市開催!! 主催:温江村づくり委員会

月1回
開催予定!

いろんなもん
売っとるできてや!

思わぬものが見つかるかも!?



温江村づくり委員会
代表 千賀 誠八郎さん

7月27日(土) 温江の国道沿いの広場で軽トラ市が開催された。14名の出店者が6台の軽トラの荷台で、温江で採れた新鮮な野菜を販売していた。今回、第一回目の軽トラ市ということであったが、多くの来客があり、とても盛況だった。

主催した温江村づくり委員会の代表である千賀誠八郎さんは「いつもは自分のことばかり気にしていたが開催してみても、いざこうやって持ち寄ってみると色々なものを作っておられて、びっくりした。温江で採れたものをみなさんに食べてもらいたい」と第一回の開催成功に手ごたえを感じておられました。

軽トラの荷台に並ぶ野菜は、珍しい野菜も多く、ジャガイモだけでも6種類販売していた。季節によって出品する野菜が変わってくるのも軽トラ市のおもしろみだ。今後は毎月下旬に開催予定で、みなさんは非一度足を運んでみてはいかがですか?

前日の雨で少しひんやり感のある土曜の朝、温江で行われる軽トラ市へ取材に行ってきました。そこには珍しい種類の野菜がたくさん出品されていました。4月頃からこの軽トラ市に向けて準備してこられ、日にちを逆算して種を蒔かれるなどの苦労話も伺いました。今回は温江の夏祭りと同時間開催の予定だそうです。場所・価格・温江の人柄、とても魅力のある軽トラ市です。ぜひぜひみなさん、温江の野菜の顔を見に行ってみませんか?

(白須 邦子 委員)

シャドークイーン アンテスレッド



6種類のジャガイモが販売。調理レシピも添えられている。

きょうりよくのうじょう

京力農場プラン 人・農地プランの京都府版

途中経過報告

京力農場プランってなに?

農業者の高齢化・後継者不足・耕作放棄地の増加などの問題を解決するために農林水産省が地域(集落)で5年後に目指す姿を明確にする「人・農地プラン」作成を推進していますが、その内容を京都府独自に発展させた政策です。

平成25年3月26日に京力農場プラン検討会が行われました。その検討会で、温江・香河・石川中地の3地区が協議され、承認されました。京力農場プランは地域の農業をどう守っていくのかを地元の農業者を中心に議論を行いその地域の実情に合ったプランを作成します。

現在作成済みの4地区以外にも与謝・後野・石川堂谷・石川下地・岩屋の各地域でもプランの作成の検討が進められています。このプランは農家の方だけでなく、非農家の方々にも地域の将来を見据えていただくことが必要となつてきます。

青年就農給付金や農地集積協力金など様々な助成があります。この他にも条件を満たせば様々な制度を受けられます。詳しく知りたい方は農林課 農業振興係 (☎43-2191) までお問い合わせください。

与謝野町の新規就農者

～温江に新規就農者がやってきた～

温江に住んでおられる木村正典さん（45才）は、千賀誠八郎さんの下で農業の勉強をされています。千賀さんには、普段から色々とお世話になっていて、「農業をやってみないか？」と熱心に誘ってもらったのが、就農を決意したきっかけだったそうです。

会社を早期退職後、農業の道に進む木村さんは「毎日が初めてのことばかりで、とても勉強になっています。今温江にあるイチゴを守っていきりたい」という熱い思いを語られました。

▼イチゴの苗作りに励む 木村さん



▲旦那さんの木村正典さん

▼ナスの袋詰めを行う木村さん



▲奥さんの木村有紀子さん

笑顔が素敵な木村有紀子さん（45才）は、夫婦で就農を目指すため、6月から滝の山本孝市さんの下で、ネギやナスの研修中です。

木村さんは「夫から急に農業をすると聞いたときは、びっくりしましたが、相談に乗ってくれる人が周りにいっぱいいるので、安心してやっていけると思っています」と不安ながらも農業の道へ進む決心をされたようです。最近では、自宅の庭で家庭菜園をするようになって、野菜をあまり買わなくなったそうです。

夫婦別々の所で研修を受けている木村さん夫婦は作る作物も別々です。

正典さんは水稲・イチゴの研修。有紀子さんはネギ・ナスといった野菜の研修。と、お互いバランスのとれた研修を受けておられ、独立後の就農計画は、学んだ研修を生かし規模を徐々に拡大されるようです。ハウスも2棟、温江に建てる予定で、ネギを栽培される予定だ。

千賀さんは「木村さんが一人前に就農できると判断したら経営継承する」とおしゃっており、頼もしい後継者が見つかった。

山本孝市さんの奥さん、夏江さんは「こうやって就農して田んぼや畑を守ってもらえるというのはとても嬉しい」とおっしゃっておられました。

今後、研修を終え温江地域の担い手として農地を守っていく木村さん夫婦に期待します。

◆取材を終えて◆

木村正典さんは、元々、農家出身ではなく「農業の道へ進む」という一大決心をされて、千賀さんの下で農業の勉強をされています。千賀さんの後継者としても期待されています。

独立後は是非とも夫婦二人三脚で頑張っていただけだからと思っています。

（野口 浩市 委員）



木村有紀子さんは、温江の会合にも積極的に出席したり、周りの人から色々な話を聞いて勉強されています。滝の山本さんの農園で作業実習をされていますが、楽しんで農業をされているように見えました。これからは、同じ農家として一緒に頑張っていきたいと思っています。

（西川 千榮子 委員）



取材ご協力ありがとうございました。





農地情報あれこれ



賃借料情報・作業請負料金のお知らせ 〈再掲載〉

—お知らせ—

平成21年より
標準小作料制度は
廃止になりました。

区分	平均額 (物納換算)	最高額 (物納換算)	最低額 (物納換算)	データ数
与謝野町全域 (田)	7,600円/10a (31.9kg/10a)	9,000円/10a (37.8kg/10a)	3,000円/10a (12.6kg/10a)	98 (無償4件含む)

平成24年に利用権設定された賃借料を基に農業経営対策委員会で集計しましたので、今後の農地の貸し借りの参考としてください。

※平成24年1月から12月までに、農地法及び農業経営基盤強化促進法により締結(公告)された賃借料を集計しています。

※物納は7,150円/玄米30kg、毎年話し合いは8,500円/10a(H23の平均額)で価格換算しています。

※特殊な取引に係るデータは取り除いています。

※この情報は、賃借契約時の目安ですので、必ずお互い話し合い、納得できる賃借料を決定してください。

—農作業請負料金をご参考ください—

区分	参考価格 (機械使用料・オペレーター料・税込)
荒起こし	11,000円/10a
切り替えし	6,000円/10a
代かき	7,000円/10a
田植え(苗・農薬別)	7,000円/10a
コンバイン刈	24,000円/10a
合計	55,000円

区分	参考価格 (機械使用料・オペレーター料・税込)
乾燥・調製	2,500円/60kg
畔ぬり	80円/m

農作業請負料参考価格を見直しました。昨年度に比べ畔ぬりを値上げしました。ほ場条件や燃料費の変動によって価格が増減しますので、必ず双方で話し合の上、決定してください。

取材に
行きます!



お知らせください。

ましたら広報編集委員会まで

■農業に関するネタを募集しています!!
・こんな野菜が採れました。
・こんなイベントしています。 など

農業のことなら

農業新聞で!

- 購読の申し込みは
農業委員会事務局へ
☎ 43・2191
- 発行：毎週金曜日
- 購読料：月600円



農業経営と暮らしに役立つ情報が掲載されている農業総合専門誌です。また全国47都道府県にある支局の充実に、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの情報提供をおこなっています!

全国農業新聞を 読みませんか?



■体の特徴■

体長：45cm～60cm
体重：8kg～15kg

■食べ物■

果実、種子、樹皮といった植物性の食物が中心でキノコや昆虫も食べることが知られています。



■生態■

サルは昼行性で、群れになって行動することが多いですが、地域・環境によっては単独で行動することもあります。ヒトの手と同様、ものを掴んだり、小さなものをつまんだりすることもできます。

最近、与謝野町内でもサルの目撃情報が多数あります。サルを目撃した場合は、すぐに追い払うことが大切です。大声を出したり、大きな音をだして追い払いましょう。また、エサを与えたり、食べ物放置することが人里に繰り返し出没させる原因となりますので、安易な餌付けは行わないでください。

■連絡先■

被害が発生した・発生する可能性のある場合、目撃情報等があれば、農林課林業水産係（☎43-2191）へご連絡ください。

農業者年金のお得ポイントその②!!

◆終身年金で80歳まで保証付き！◆

◆老後を生涯しっかりサポート◆

農業者年金は、原則65歳から終身（生涯）受け取ることができます。これにより、何歳まで生きるかだれも予測できない老後生活にとって、ずっと一定の所得が確保されるものです。

仮に加入者・受給者が80歳までに亡くなった場合でも、80歳までに受け取るはずだった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支払われます。

◆◆◆◆加入要件◆◆◆◆

- ①国民年金第1号被保険者
 - ②60歳未満の方
 - ③年間60日以上農作業に従事している方
- この3つを満たせばどなたでも加入することができます。
ぜひ条件を満たす方は加入しましょう！

少しでも興味を持たれた方は
お気軽に農業委員会事務局
(☎43-2191)に
お問い合わせください。



※現在与謝野町内で農業者年金を受給されている方は新制度5人・旧制度91人
いらっしゃいます。また新制度の加入者数は5人です。(平成25年8月1日現在)

田植え体験祭り

主催：ビッグファーマー野田川



6月2日(日)、与謝野町商工会館の前で「田植え体験祭り」が天候にも恵まれ、総勢107名の参加で開催されました。主催者であるビッグファーマー野田川の方々は、らでいっしゅぼーや倶の会員、一般消費者など普段農業に触れ合ったことのない都会の参加者と交流を深め、自然に触れ合う大切さを伝えていました。



横一列で田植えを行う参加者

田植えを体験したことのない子供たちは戸惑いながらも作業に没頭し、ロープを目印にして見事に田植えを終えました。

また、田植え体験以外にもトラクターの試乗会、農業ウ

作業に没頭している姿は立派な農家！



※3月9日撮影

ルトラクイズなども行われ、大盛況でイベントが終了しました。秋には自分たちで植えた稲を刈り取る「収穫祭」イベントもあり、参加者は秋の収穫を心待ちにしている様子でした。ビッグファーマー野田川の会長である伊達良一さんは「こういう交流の場を大切にしていき、これからこのイベントを続けていきたい」という熱い思いをおっしゃっていました。



しっかり植えなあがんで!!

▲ビッグファーマー野田川 会長 伊達 良一さん

植えた田んぼもこんなに成長しました！



取材を終えて

まず会場へ行き、参加者が子供連れの若い家族ばかりだったことに驚きました。こんな綺麗な服装で田植えをするのかと心配していましたが、そんな心配をよそに泥だらけで楽しそうに田植えをしておられました。田んぼの中に入ると「キヤー」という声も聞こえ、体験したことのない感覚を楽しんでおられるようにも見えました。

丹後産コシヒカリは、食味ランキングで「特A」を通過10回獲得しておりますが、都会の消費者にはまだ周知されていないように感じます。このようなイベントが町内で増えていけば、丹後産コシヒカリのおいしさを全国の消費者に広めていけるのではないのでしょうか。

(増田 乙久 副委員長)

編集後記

今年の梅雨は雨が少ない空梅雨で、畑の野菜は種を蒔いても発芽が悪く、水不足に悩まされたと聞きましたが、それほど深刻な状況にはならなくて安心しました。

梅雨も明け、これから8月、9月と残暑が続くと思いますので、外に出て農業を行うときは熱中症に十分注意して、適度な休憩と水分補給をしっかりとってください。

(糸井 裕一 委員)



広報編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 金谷 肇 |
| 副委員長 | 増田 乙久 |
| 委員 | 野口 浩市 |
| " | 糸井 裕一 |
| " | 西川千榮子 |
| " | 白須 邦子 |